

オーディオの基本操作	82
オーディオに切り換える	82
オーディオの種類を選ぶ	82
オーディオの音声を出力したまま ナビゲーションに切り換える	83
オーディオをOFFにする	83
テレビを見る	84
テレビ初期設定を行う	84
テレビの基本操作	86
テレビの受信や信号の設定をする	88
視聴予約を確認・編集する	88
ソフト情報を見る	88
デバイスID表示	88
テレビのシステム設定をする	90
ラジオを聞く	91
受信中の放送局をリストに 記憶させる(プリセットメモリー)	91
記憶させた放送局を選ぶ (プリセット選局)	91
FM/AMを切り換える	91
自車位置に応じて放送局を 切り換える(エリアモード)	91
周波数から選局する	91

交通情報を聞く	91
ディスクを再生する	92
再生できるディスク	92
ディスクを挿入する	92
microSDメモリーカードを挿入する	93
BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCRECを 再生する	94
BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCRECの 設定を変える	97
DVD-Video・DVD-VRを再生する	98
DVD-Video・DVD-VRの 初期設定を変える	100
音楽CD (CD-DA) を再生する	101
MP3/WMAを再生する	102
BLUETOOTH Audioを再生する	103
SDメモリーカードに 音楽CDを録音する	104
録音に関する設定をする	104
録音する	104

本機で録音した音楽データを再生する...	106
本機で録音した音楽データを編集する...	108
アルバムの情報を編集する	108
曲の情報を編集する	108
再生中のアルバム・曲をお気に入り 登録する	110
アルバム・曲をお気に入りに登録する	110
お気に入りフォルダの名称を変更する	110
お気に入りに登録したアルバム・曲を 削除する	110
ジャケット写真を登録する	111
アルバム・曲を再生する/しないを 設定する	111
再生中のアルバム・曲にジャンルを 登録する	111
アルバム・曲を削除する	111
パソコンでGracenoteデータベースを 更新する(ローカルアップデート)	112
パソコンでタイトル情報を個別に 更新する(カスタムアップデート)	113
スマートフォンでタイトル情報を 個別に更新する	114
SDメモリーカード内の録音状況を 確認する	115
録音した音楽データを初期化する	115

SDメモリーカード・ USBメモリーを再生する	116
SDメモリーカードを挿入する	116
USBメモリーを本機と接続する	116
音楽(MP3/WMA/AAC)を再生する	117
静止画を再生する	118
動画を再生する	119
iPodを再生する	120
音楽を再生する	122
ビデオを再生する	123
音質・音場を調整する (オーディオチューン)	124
オーディオチューンのモードを選ぶ	124
FADE/BALANCEの 出力レベルを調整する	124
音響効果「音の匠」を設定する	125
SRS CS Autoの設定をする	126
DSPの設定をする	127
車速連動音量を補正する	127
より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)	127
Gracenoteをアップデートする	127
イコライザーの設定をする	128
スピーカーの設定をする	129
映像を調整する	130
画質を調整する	130
映像の画面表示サイズを切り換える	130
現在地画面にオーディオ映像を 表示する	131

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、Blu-ray Disc、DVD、SD動画、USB動画、iPodビデオ、HDMI、VTR、Drive P@ss(動画など)の映像は表示されません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。
後席用のモニターに出力される映像について→P.162

オーディオに切り換える

AUDIOを押す

- オーディオ画面に切り換わります。

オーディオの種類を選ぶ

オーディオメニューから

切り換えたいオーディオを選ぶ



- 選んだオーディオに切り換わります。

お知らせ

- オーディオの音量を調整するには→P.17

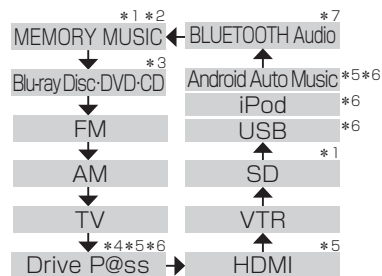
ステアリングスイッチで

準備

- ステアリングスイッチ設定をしてください。(P.23)

SOURCEを割り当てた ステアリングスイッチを押す

- 押すごとにオーディオが切り換わります。



- オーディオOFF時はMEMORY MUSICに切り換わります。
- 交通情報時は、TVに切り換わります。
- ステアリングスイッチで交通情報に切り換えることはできません。

- * 1 SDメモリーカード挿入時のみ
- * 2 本機で録音した音楽データの再生
- * 3 ディスク(CD・MP3/WMA・DVD・Blu-ray Disc)挿入時のみ
- * 4 スマホ連携時のみ
- * 5 後席用モニターに出力できません。
- * 6 USBメモリー、iPodまたはAndroid Auto接続時のみ
(同時には接続できません。)
- * 7 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ

オーディオの音声を出力したまま ナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に

MAPを押す

- オーディオ画面に戻るには、**AUDIO**を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。(右記)

- 現在地画面を表示



- オーディオ画面と同じ操作ができます。
- オーディオがTVのときは、**◀▶**でチャンネルの切り換えができます。

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.131)

オーディオをOFFにする

本体ボタンで

AUDIOを2秒以上押す

- オーディオをONにするには
オーディオOFFの状態では、**AUDIO**を2秒以上押す

ツートップメニューから

AUDIO OFFを選ぶ



- オーディオの音声・映像が消去されます。(オーディオOFF)

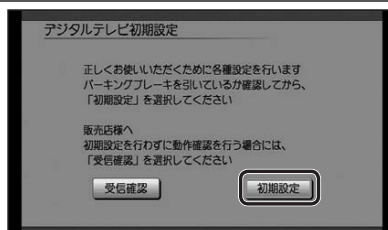
- オーディオをONにするには

ツートップメニューから

AUDIO ONを選ぶ

テレビ初期設定を行う

初めてテレビに切り換えたときは、テレビ初期設定画面が表示されます。地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずテレビ初期設定をしてください。



1 初期設定を選ぶ

- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、**受信確認**を選んでください。
- ・受信確認中は、**◀▶**で物理チャンネルを変更できます。

郵便番号設定

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定**を選ぶ

県域設定

3 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■伊豆、小笠原諸島地域

1 沖縄・その他の島部を選ぶ

2 東京都島部を選ぶ

■南西諸島鹿児島県地域

1 沖縄・その他の島部を選ぶ

2 鹿児島県島部を選ぶ

4 次へを選ぶ

ホームモードのチャンネル設定

5 地域を確認して、**決定**を選ぶ

- 受信可能なチャンネルの検索が完了すると、一覧表が表示されます。
- 地域によっては、検索に時間がかかる場合があります。(約5分)
- ◀▶**: 地域の変更

6 各チャンネルの放送局を確認して、**決定**を選ぶ

- 検索できない放送局があった場合は、初期設定終了後に再スキャンを行ってください。(P.90)チャンネル番号



▲▼でチャンネル番号を選び、**◀▶**で放送局を選べると、手動でチャンネルを修正できます。

7 終了を選ぶ

- これで準備完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。

テレビ初期設定を変更・再確認するには

テレビ初期設定画面(P.84)は、一度設定すると、出荷状態に戻す(P.179)またはTVの初期化(P.179)をするまで表示されません。引越しで受信地域が変わったなどの理由で、テレビ初期設定の項目を変更したい場合は、下記から設定してください。

- 郵便番号設定.....P.90「郵便番号」
- 県域設定.....P.90「県域」
- ホームモードのチャンネル設定.....P.90「ホームチャンネル」

■周波数再編(リパック)について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、再スキャン(P.90)を行ってください。

■緊急警報放送(EWS)について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。



- テレビ以外のオーディオを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り換わる場合があります。
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)
- もとの戻すには、手動で切り換えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。

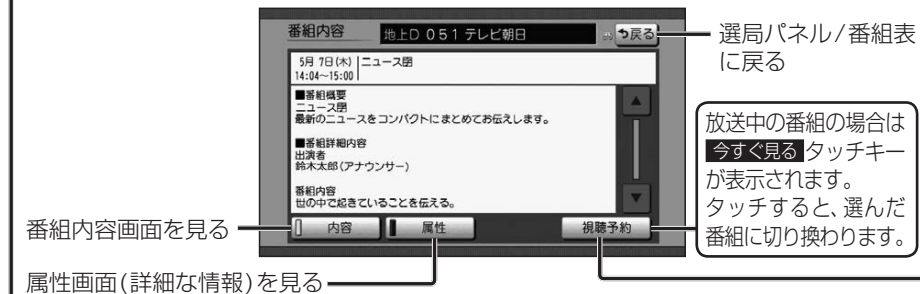
テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)が表示されます。

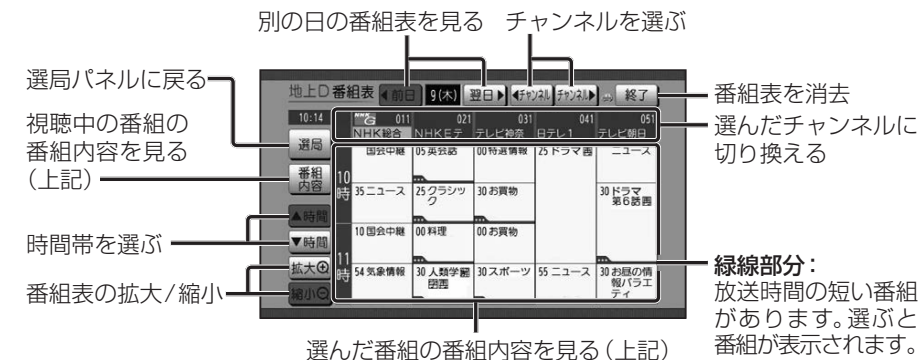
- 約10秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。



番組内容を見る



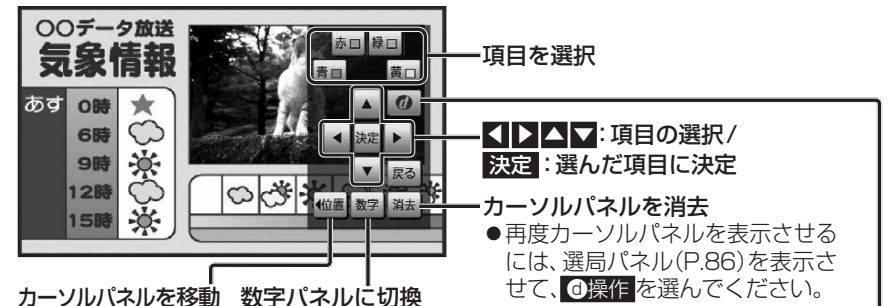
番組表を見る



- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
- 番組表表示形式を設定できます。(P.90)

カーソルパネルの操作

選局パネル(P.86)から**④操作**を選ぶと、カーソルパネル(下記)が表示されます。



データ放送を見る

カーソルパネル(上記)から**④**を選ぶと、データ放送が表示されます。

- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度**④**を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。

お知らせ

- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

画面キーボードが表示されたら

画面キーボードで文字を入力する



- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

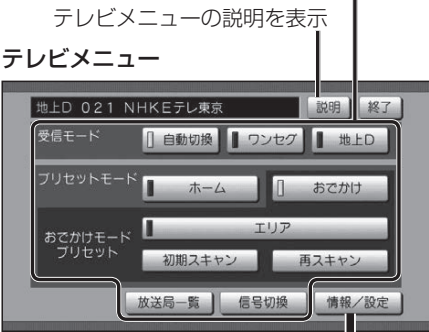
視聴予約をする

視聴予約したい番組の番組内容画面(P.86)を表示させ、**視聴予約**を選ぶ

- 選んだ番組の視聴予約がセットされます。
- 予約した時間になると、自動的にテレビに切り換わり、予約した番組が表示されます。
- 受信モードが自動切替になっていない場合、視聴予約した番組に切り換えられない場合があります。
- 同じ時間に開始する番組を複数予約することはできません。
- 放送開始時刻が変更になっても、予約時刻は自動では変更されません。
- 視聴予約した番組が終了しても、もとのオーディオ、チャンネルには戻りません。
- 緊急警報放送中は、視聴予約が実行されません。
- 予約した番組(チャンネル)が受信できない場合は、自動的に中継局や系列局をサーチして、受信できた局に切り換わります。
- 視聴予約を確認するには→P.88

テレビを見る

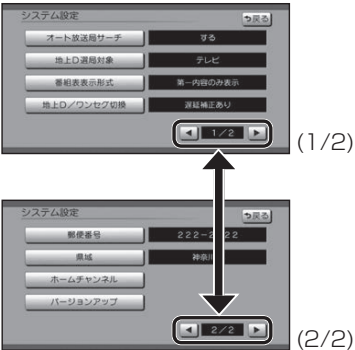
選局パネル(P.86)から
デジタルTVメニューを選ぶと、
テレビメニューが表示されます。



情報/設定画面



システム設定画面



テレビの受信や信号の設定をする

- 1 設定したい項目を選ぶ
- 2 設定する (P.89)

視聴予約を確認・編集する

- 視聴予約を選ぶ
 - 視聴予約一覧が表示されます。



視聴予約を取り消す

- 1 視聴予約一覧(上記)から取り消したい視聴予約にチェック(✓)する
- 2 取消を選ぶ
- 3 はいを選ぶ
 - 選んだ視聴予約が取り消されます。

ソフト情報を見る

- 1 ソフト情報表示を選ぶ
- 2 情報を確認する

デバイスID表示

- 通常は、この操作は必要ありません。
- デバイスID表示を選ぶ
 - 受信機(本機)の情報が表示されます。



● お問い合わせの際に必要な場合があります。

[太字:お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
受信モード	「自動切換」: 受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切換 ● 番組のタイトル表示・チャンネル表示にAUTOと表示されます。 「ワンセグ」: 受信状態に関わらずワンセグを受信 「地上D」: 受信状態に関わらず地上デジタル放送を受信 ● 受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
プリセットモード	「ホーム」: ホームモードに切換 「おでかけ」: おでかけモードに切換 ■ ホームモード テレビ初期設定の「ホームモードのチャンネル設定」(P.84) で設定された、自宅周辺で受信できるチャンネルを選べます。 ● 放送局を変更するときは、「ホームスキャン」を行ってください。(P.90) ● ホームモード設定中におでかけモードプリセット(下記)を行うと、ホームモードは解除され、おでかけモードに切り換わります。 ■ おでかけモード ホームモードの放送局が受信できない旅行先などでは、ホームモードとは別に、旅行先で受信できるチャンネルを登録できます。(下記「おでかけスキャン」) また、自車位置に応じて放送局のリストを自動的に切り換えることもできます。(下記「エリアプリセット」)
おでかけモードプリセット	「エリア」: 自車位置に応じて放送局リストを自動的に切り換えます。(エリアプリセット) ● 再度選ぶと解除されます。 ■ おでかけスキャンについて ● 放送局の系列は、ホームモード時のチャンネル設定に合わせます。 ● おでかけモードでは、チャンネルの修正はできません。 ● おでかけ初期スキャン/おでかけ再スキャンするとエリアプリセットは解除されます。 「初期スキャン」: 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。(おでかけ初期スキャン) ● スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間) 「再スキャン」: 新たに受信できたチャンネルが追加されます。(おでかけ再スキャン) ● 以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。(削除・上書きなどはされません。) ● スキャン完了後、放送局一覧が表示されます。(約10秒間)
放送局一覧	放送局一覧を確認する ● 本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。 ● ワンセグは青色で表示されます。
信号切換	信号切換を選ぶ 各項目を設定する 「マルチビュー」: マルチビュー放送のときに選択できます。 ● マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 「映像」: 映像が複数あるときに選択できます。 「音声」: 音声が多数あるときに選択できます。 「二重音声」: 二重音声の音声を選択できます。 「字幕」: 字幕の言語を選択できます。 「文字スーパー」: 文字スーパーの言語を選択できます。 ● 文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。

オーディオ
テレビを見る

テレビを見る

テレビのシステム設定をする

1 システム設定画面 (P.88) から設定したい項目を選ぶ

2 設定する (下記)

[太字:お買い上げ時の設定]

項 目		設定内容 / 操作	
オート放送局サーチ		「す る」: オート放送局サーチする 「し な い」: オート放送局サーチしない ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、手動で選局してください。(P.86「テレビの基本操作」) ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。	
地上D選局対象*1		「テ レ ビ」: テレビサービスのみ選局する*2 「テレビ/データ」: テレビサービスと独立データサービスを選局する * 1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 * 2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。	
番組表表示形式		「第一内容のみ表示」: 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する ● 代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 「全 内 容 を 表 示」: 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する	
地上D/ワンセグ切換		「遅延補正あり」: スレを補正する 「遅延補正なし」: スレを補正しない	
郵便番号		お住まいの地域の郵便番号を入力する 決定 を選ぶ	
県域		P.84「テレビ初期設定を行う」手順3と同じ操作でお住まいの都道府県を選ぶ	
ホームチャンネル		ホームモードで使用するチャンネルを設定する (ホームスキャン) 準備 ● ホームモードに切り換えてください。(P.89)	
放送局を上書きしてチャンネルを記憶する (初期スキャン)		初期スキャンを選ぶ ◀▶ で地域を選び、 決定 を選ぶ ● 現在受信できるチャンネルが検出され、以前のリストに上書きされます。	内容を確認し、 決定 を選ぶ ● チャンネルを修正するには →P.84手順6
引越しなどで受信地域が変わり、ホームモードを再設定するときに行ってください。			
放送局リストにチャンネルを追加する (再スキャン)		再スキャンを選ぶ ● 新たに受信できたチャンネルが追加されます。 ● 以前ホームモードに登録されていたチャンネルは残ります。(削除・上書きなどはされません。)	内容を確認し、 決定 を選ぶ ● チャンネルを修正するには →P.84手順6
自宅付近に新しく開設された放送局や、自宅に隣接した地域で受信できる放送局を追加するときなどに行ってください。			
設定したチャンネルを修正する (マニュアル)		マニュアル を選ぶ	チャンネルを修正する →P.84 手順6 決定 を選ぶ
バージョンアップ		テレビチューナーの内部ソフトウェアバージョンアップの際に使用します。	

ラジオを聞く

[FM/AM]に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

ラジオ画面



オーディオチューン (P.124~129)

受信中の放送局をリストに記憶させる (プリセットメモリー)

1 プリセットのリスト (P1/P2) を選ぶ

2 ◀▶で周波数から選局する (右記)

3 保存したい枠を2秒以上タッチする

- 受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。

記憶させた放送局を選ぶ (プリセット選局)

1 プリセットのリストから放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。
- P1/P2を選ぶと、プリセットのリストが切り換わります。

2 放送局を選ぶ

- 選んだラジオ放送を受信します。

交通情報を聞く

[交通情報]に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

交通情報画面



FM/AMを切り換える

FM/AM を選ぶ

お知らせ

- AMステレオには対応していません。

自車位置に応じて放送局を切り換える (エリアモード)

エリア を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。(12局まで)

自車位置周辺の放送局を更新するには

エリアモードで エリア更新 を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストに更新されます。

周波数から選局する

◀▶ をタッチする

- 1秒以上タッチして離すと選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

お知らせ

- 本機は、ワイドFM (FM補完放送) に対応しています。
- 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

オーディオを交通情報に切り換えると、交通情報を聞くことができます。
[お買い上げ時の設定: 1620 kHz]

周波数を選ぶ

お知らせ

- オーディオを交通情報に切り換えると、ビット・周波数拡張の設定がONの場合、設定はOFFになります。他のオーディオを選ぶと、設定はONに戻ります。

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。
「ディスクについて」(P.196)も併せてご覧ください。

フォーマット ディスク	BDMV	BDAV	AVCHD*3	AVCREC*3	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3*4	WMA*4
Blu-ray	○	—	—	—	—	—	—	—	—
BD-R/RE	○	○	○	—	—	—	—	—	—
DVD	—	—	—	—	○	—	—	—	—
DVD-R/RW*1	—	—	○	○	○	○	—	—	—
CD	—	—	—	—	—	—	○	—	—
CD-R/RW*2	—	—	—	—	—	—	○	○	○
操作のしかた	P.94～97				P.98～100	P.101	P.102		

- *1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
- *2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
- *3 AVCHD、AVCREC形式のDVD-R/RWを本機に挿入すると、Blu-ray Discのアイコンが表示されます。
- *4 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Loss-less、WMA Voiceには対応していません。

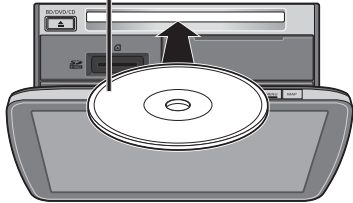
お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。
詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

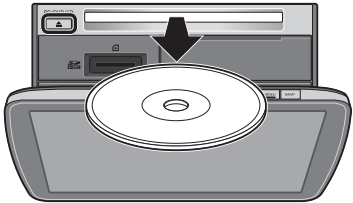
ディスクを挿入する

1 ディスプレイを十分に倒して、ディスクを挿入する

ラベル面を上



取り出すには
ディスプレイを十分に倒して、を押す



●ディスクが排出されます。

2 ディスプレイを起こす

お願い

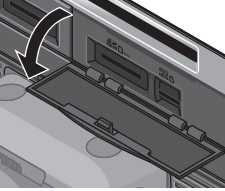
- ディスクを取り出すときは、必ず停車してください。
道の起伏(砂利道など)で振動していると、排出されない場合があります。
- 必ずディスプレイを十分に倒してから、ディスクを挿抜してください。
ディスプレイの倒しかたが不十分な場合、ディスクが排出されません。

microSD メモリーカードを挿入する

BDMVには、ローカルストレージにディスクの付加情報を保存して、再生時に利用することができるものがあります。

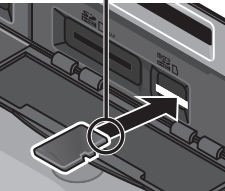
- 本機で使用できるmicroSDメモリーカードについては、P.199をご覧ください。
- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 ディスプレイを十分に倒して、ふたを開く



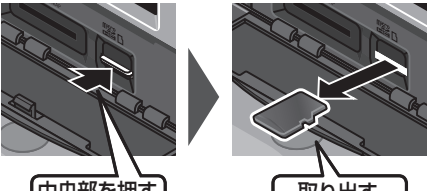
2 microSDHCメモリーカードを奥までまっすぐに挿入する

角がカットされた側を右に



●カチッと音がするまで差し込みます。

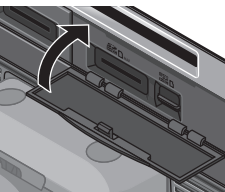
取り出すには



中央部を押す

取り出す

3 ふたを閉じてから、ディスプレイを起こす



お願い

- 必ずSD挿入口のふたを閉じてから、ディスプレイを起こしてください。
ふたが開いたままディスプレイを起こすと、ふたが破損するおそれがあります。

ディスクを再生する

- [Blu-ray Disc] に切り換えるには→P.82「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.92

BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCRECを再生する

- 本機で再生できるディスクについて
→P.92、196

ディスク再生画面(BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCREC)



本編再生中に画面をタッチすると、再生操作タッチキーが表示されます。



各種切換 を選ぶと、
各種切換タッチキーが表示されます。
● 操作のしかた→P.96



お知らせ

- ディスクによっては、パスワード入力をしていないと再生できないよう設定されている場合があります。パスワード確認入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
- 2枚以上セットになっているBDMVは、1枚目を見終わってディスクを取り出したあと、次のディスクを挿入するよう指示する表示が出たままになる場合があります。
- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、**⓪**が表示されます。

トップメニューを表示する

BDMV AVCHD

トップメニュー を選ぶ

ポップアップメニューを表示する

BDMV

ポップアップメニュー を選ぶ

タイトルリストを表示する

BD-RE AVCREC

タイトル を選ぶ

プレイリストを表示する

BD-RE AVCREC

プレイリスト を選ぶ

一時停止

再生中に **⏸** を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

停止

再生中に **⏹** を選ぶ



- **⏸** を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。(リジューム再生)

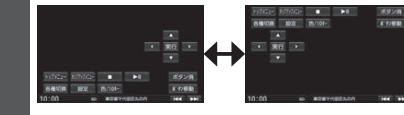
- **⏹** を選ぶと、リジューム再生開始位置の情報を解除 (P.96)

- BD-J はリジューム再生非対応です。

タッチキーの位置を切り換える

ボタン移動 を選ぶ

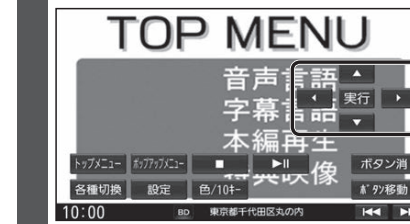
- タッチすることにより切り換わります。



ディスクによっては、メニューなどを直接タッチして操作できません。カーソル・カラーボタン・10キーで項目を選んでください。

カーソルで操作する

⬅ ➡ でカーソルを移動し、
実行 を選ぶ



色や10キーで選ぶ

1 **色/10キー** を選ぶ

2 カラーボタン/10キーで項目を選ぶ



- **ボタン移動** : タッチキーを上下に移動
- **ボタン消去** : タッチキー消去

早送り・早戻し

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中 (P.94) に

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

チャプターの頭出し

⏮ ⏭ をタッチする

ディスクを再生する

BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCRECを再生する(続き)

各種切替タッチキー (P.95)



タッチキーを消去

再生時間を表示する

タイム を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター
←表示なし→

音声を切り換える

音声 を選ぶ

- 選ぶごとに、音声切り換わります。

主音声/副音声を切り換える

主/副 を選ぶ

- 選ぶごとに、主音声/副音声切り換わります。

字幕の切替/消去

字幕 を選ぶ

1 **字幕** を選ぶ

2 **字幕の切替**
字幕切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕言語切り換わります。

字幕の表示/消去
字幕ON/OFF を選ぶ

- 選ぶごとに、表示/消去切り換わります。

アングルを切り換える

アングル を選ぶ

- 選ぶごとに、アングル切り換わります。

タイトル/チャプターを選ぶ

1 **サーチ** を選ぶ

2 番号を入力し、**実行** を選ぶ

- **切替** : タイトル/チャプター切り換
- **修正** : 1文字消去

副映像を切り換える

1 **副映像** を選ぶ

2 **副映像を切り換える**
映像切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像切り換わります。

副映像を消去する
映像ON/OFF を選ぶ

副映像用音声を切り換える
音声切替 を選ぶ

- 選ぶごとに、副映像用音声切り換わります。

副映像用音声を消去する
音声ON/OFF を選ぶ

トップメニューから元の再生に戻る (リジューム)

リジューム を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕スタイル切り換わります。

* 1 BD-Jは非対応です。

BDMV・BD-RE・AVCHD・AVCRECの設定を変える

1 再生操作タッチキー (P.94) から **設定** を選ぶ

2 各項目を設定する(下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作	
BDMV、AVCHDの言語を設定する 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。	設定したい項目の 言語を選択 を選ぶ [お買い上げ時の設定: 日本語] ● オリジナル : ディスクで優先されている言語に切替 ● 初期値 : すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す ● OFF : 字幕表示しない	言語コードを入力し、 決定 を選ぶ ● 言語コード一覧表→P.204 ● クリア : 全文字削除 設定した言語がコンテンツに収録されていない場合や、コンテンツに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。
音声ダイナミックレンジで圧縮する*1 (ドルビーデジタル再生時のみ)	ダイナミックレンジ圧縮 を選ぶ	● 「O N」: 圧縮する ● 「OFF」: 圧縮しない * 1 音声ダイナミックレンジについて ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。
後席用モニター用HDMI出力の音声出力フォーマットの切替を行う	HDMI出力音声 を選ぶ	● 「ビットストリーム」: 音声をビットストリーム出力する*2 ● 「LPCM」: 音声をLPCM出力する * 2 接続先機器がビットストリームに対応していない場合は本機からの出力は自動的にLPCMになります。
副映像の音声とコンテンツの操作音を出力する	副映像用音声・操作音 を選ぶ	● 「O N」: 出力する ● 「OFF」: 出力しない
再生できるBlu-ray Discを制限する(レベル0~255) ● 制限したい年齢の下限を目安に設定してください。 ● レベル255は制限解除です。	視聴年齢制限 を選ぶ	視聴年齢制限 を入力する パスワード(4桁) を入力し、 決定 を選ぶ ● クリア : 全文字削除 ● パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。
パスワードを変更する ● パスワードは4桁の数字で設定してください。	パスワード変更 を選ぶ	「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、 決定 を選ぶ ● クリア : 全文字削除 ● お買い上げ時のパスワードは「0000」に設定されています。
ワイドサイズの映像を後席用モニターの画面サイズに合わせる	モニター設定 を選ぶ	● 「ワイド」(16:9) ● 「レターボックス」(4:3) ● 「パン&スキャン」(4:3) 通常は「ワイド」(16:9)に設定してください。
本設定は本機の表示にも反映されます。 設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。		
microSDメモリーカードに保存されたBlu-ray Discのデータを削除する	BDデータ消去 を選ぶ	はい を選ぶ
本機に記録された履歴を削除する	BD履歴消去 を選ぶ	はい を選ぶ

お知らせ

● 言語設定、ダイナミックレンジ圧縮、パスワード変更、モニター設定、HDMI出力音声は、DVDでの設定と共通です。(P.100)

ディスクを再生する

- [DVD] に切り換えるには→P.82「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.92

DVD-Video・DVD-VRを再生する

- 本機で再生できるディスクについて
→P.92、196

ディスク再生画面 (DVD)



本編再生中に[MENU]を押すと、
基本操作タッチキーが表示されます。

基本操作タッチキー画面 1



タッチキーを消去

基本操作タッチキー画面 2



設定を変える
(P.100) タッチキーを
消去

タイトルメニューを表示する [DVD-Video]

タイトル を選ぶ

トップメニューを表示する [DVD-Video]

メニュー を選ぶ

タイトルリストを表示する [DVD-VR]

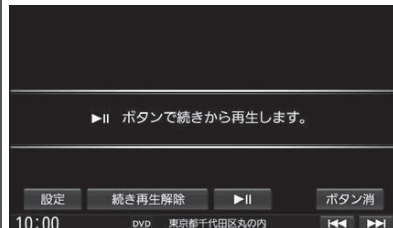
タイトル を選ぶ

プレイリストを表示する [DVD-VR]

メニュー を選ぶ

停止

再生中に **□** を選ぶ



● **▶II** を選ぶと、再生を開始します。

- **続き再生解除**: リジューム再生開始位置の情報を解除 (右記)

一時停止

再生中に **▶II** を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

音声 を選ぶ

- 選ぶごとに、音声切り換わります。

字幕の切り換え/消去

■ **字幕** を切り換える [DVD-Video]

字幕 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕切り換わります。

■ **字幕** を消去する [DVD-VR]

字幕 を選ぶ

- 選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

アングルを切り換える [DVD-Video]

アングル を選ぶ

- 選ぶごとに、アングル切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニュー
から元の再生に戻る (リジューム)

[DVD-Video]

リジューム を選ぶ

お知らせ

- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、**⊗** が表示されます。

早送り・早戻し

- **⏮ ⏭** をタッチし続ける
● 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

- 一時停止中 (P.98) に
⏮ ⏭ をタッチし続ける
● 離すと、通常の再生に戻ります。
● **⏮**: [DVD-Video] のみ

チャプターの頭出し

- **⏮ ⏭** をタッチする

再生時間を表示する

タイム を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター
←表示なし←

メニューなどをカーソルで操作する

1 **操作** を選ぶ

2 **▲▼◀▶** でカーソルを移動し、
実行 を選ぶ



- **ボタン移動**: タッチキーを左右に移動
- **ボタン消**: タッチキー消去
- DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。(ダイレクトタッチ)

1 つ前の画面に戻る

リターン を選ぶ

項目を番号で選ぶ

1 **10キー** を選ぶ

2 10キーで番号を入力する



- **ボタン移動**: タッチキーを上下に移動
- **ボタン消**: タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ
(サーチ)

1 **サーチ** を選ぶ

2 **切換** で、サーチの対象を選ぶ

- 選ぶごとに、タイトル/チャプターが切り換わります。

3 番号を入力し、**実行** を選ぶ

- 入力したタイトル/チャプターの先頭から再生を開始します。

項目を決定する

エンター を選ぶ

DVD-Video・DVD-VRの初期設定を変える

- 1 基本操作タッチキー画面2 (P.99) から**設定**を選ぶ
- 2 各項目を設定する (下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容/操作		
言語を設定する 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。	言語設定 を選ぶ	設定したい項目の 言語を選択 を選ぶ [お買い上げ時の設定: 日本語] ● オリジナル : ディスクで優先されている言語に切替 ● 初期値 : すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す ● OFF : 字幕表示しない	言語コードを入力し、 決定 を選ぶ ● 言語コード一覧表→P.204 ● クリア : 全文字削除 設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。
音声ダイナミックレンジで圧縮する*1 (ドルビーデジタル再生時のみ)	ダイナミックレンジ圧縮 を選ぶ	● 「O N」: 圧縮する ● 「OFF」: 圧縮しない	
* 1 音声ダイナミックレンジについて ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。			
ワイドサイズの映像を後席用モニターの画面サイズに合わせる	モニター設定 を選ぶ	● 「ワイド」(16:9) ● 「レターボックス」(4:3) ● 「パン&スキャン」(4:3) 通常は「ワイド」(16:9)に設定してください。	
本設定は本機の表示にも反映されます。 設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。			
後席用モニター用HDMI出力の音声出力フォーマットの切り換えを行う	HDMI出力音声 を選ぶ	● 「ビットストリーム」: 音声をビットストリーム出力する*2 ● 「LPCM」: 音声をLPCM出力する * 2 接続先機器がビットストリームに対応していない場合は本機からの出力は自動的にLPCMになります。	
再生できるDVDを制限する 設定範囲: (強)1~8(弱)、 制限なし ● 視聴制限が収録されていないDVDの場合は、本機で再生を制限することはできません。	視聴制限レベル を選ぶ	視聴制限レベルを選ぶ	パスワード(4桁)を入力し、 決定 を選ぶ ● クリア : 全文字削除
● 視聴制限を解除する場合は、 制限なし を選びます。 ● パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。 もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。			
パスワードを変更する ● パスワードは4桁の数字で設定してください。	パスワード変更 を選ぶ	「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、 決定 を選ぶ ● クリア : 全文字削除 ● お買い上げ時のパスワードは「0000」に設定されています。	

お知らせ
● 言語設定、ダイナミックレンジ圧縮、モニター設定、パスワード変更、HDMI出力音声はBlu-ray Discでの設定と共通です。(P.97)

音楽CD (CD-DA) を再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。
● 本機で再生できるディスクについて→P.92、196

ディスク再生画面 (CD-DA)



録音を開始する/停止する (P.105)

録音設定 (P.104)

再生モード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

1 **再生モード**を選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 全曲を順不同に再生します。

曲を探す (スキャン)

スキャンを選ぶ

- 全曲を約10秒ずつ再生します。

オーディオチューン (P.124~129)

リストから選曲する

1 **曲**を選ぶ

2 **リストから曲**を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

曲の情報を表示する

曲を選ぶ

- 曲の情報が表示されます。

タイトル表示について

音楽CDを挿入すると、本機内の音楽データベース*1(以降Gracenote®データベース)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

- CD-TEXT 情報がある場合は、CD-TEXT 情報が優先的に表示されます。
- 本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときはタイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

* 1 Gracenote 音楽認識サービスのデータベースの抜粋

オーディオ
ディスクを再生する

ディスクを再生する

- [CD] に切り換えるには
→ P.82「オーディオの種類を選ぶ」
- ディスクの出し入れ→P.92

MP3/WMAを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、[AUDIO] を押してください。

- 本機で再生できるディスクについて→P.92、196
- 再生順序やタイトル表示・データ作成時の留意点について→P.200

ディスク再生画面 (MP3/WMA)



オーディオチューン
(P.124～129)

リストから選曲する

1 [曲] を選ぶ

2 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

曲の情報を表示する

[曲] を選ぶ

- 曲の情報が表示されます。

早送り・早戻し

[早送り] [早戻し] をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

[早送り] [早戻し] をタッチする

再生モード切換 (リピート/ランダム/スキャン)

1 再生モードを選ぶ

2 再生を切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
リピートトラック→リピートフォルダ

← 通常再生 →

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す (スキャン)

スキャンを選ぶ

- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

フォルダを選ぶ

フォルダ [左向き矢印] / フォルダ [右向き矢印] を選ぶ

- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

BLUETOOTH Audioを再生する

[BLUETOOTH Audio] に切り換えるには
→ P.82「オーディオの種類を選ぶ」

準備

- BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。(P.134)

BLUETOOTH Audio再生画面



オーディオチューン
(P.124～129)

リストから選曲する

1 [曲] を選ぶ

2 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- [曲] を選ぶと、BLUETOOTH Audio再生画面が表示されます。

早送り・早戻し

[早送り] [早戻し] をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

[早送り] [早戻し] をタッチする

お知らせ

- 接続機器によっては、音声出力や画面表示に時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
- 接続機器によっては、画面表示が更新されない場合があります。
- 接続機器によっては、タイトル、Artist、Albumが表示されない場合があります。
- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、ナビゲーションから操作できない場合があります。その場合は、接続機器で操作してください。
- 接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、ナビゲーションから操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前に全てのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器やナビゲーションとの接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。
例：iPhoneにて、ケーブル接続している場合
- タイトル、Artist、Albumの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

選曲モードから選曲する

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲方法を選ぶ

- 「曲」を選んだ場合→手順4

3 リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面：BLUETOOTH Audio再生画面に戻る

再生モード切換 (リピート/ランダム)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生 (ランダム)

ランダムを選ぶ

- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

一時停止

再生中に [一時停止] を選ぶ

- [一時停止] を選ぶと、再生を開始します。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。

- 本機で録音した音楽データは、本機のみで再生可能な音楽データのため、本機以外の機器（パソコンなど）では再生できません。

録音に関する設定をする

1 オーディオメニュー（P.24）からCDを選ぶ

2 録音設定を選ぶ

3 録音設定画面から、録音に関する設定をする



■ 録音管理

- **自動録音**：録音していない曲を、自動的に全て録音
[お買い上げ時の設定]
- **手動録音**：曲を選んで録音

■ 音質

◀/▶で音質を選ぶ

[お買い上げ時の設定：256 kbps]

- 録音曲数の目安*1
 - ・320 kbps：約1 748曲
 - ・256 kbps：約2 185曲
 - ・192 kbps：約2 913曲
 - ・128 kbps：約4 369曲
 - ・96 kbps：約5 825曲

4 戻るを選ぶ

*1 空き容量が16 GBのSDHCカードに、4分程度の曲を録音した場合。（ファイル管理上は、最大10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。）

お知らせ

- 録音中は設定を変更できません。録音完了後または録音を停止（P.105）したあとに設定を変更してください。

録音する

音楽CDの録音について

- 録音中にCD以外のオーディオ、Drive P@ssやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。（4倍速～8倍速）
- CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
- タイトル情報が付与されない（本機のGracenoteデータベースにない）場合は、タイトルを手動で編集（P.108）、パソコンの専用アプリ「Title Finder」を使用してインターネット経由で取得（P.113）、またはスマートフォン向けアプリDrive P@ss（P.114）の「Title Finder」を使用して取得できます。「Title Finder」については、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>
- ディスクに保存されたMP3/WMAファイルは、録音できません。
- ノンストップCDを録音した場合、再生時に曲間で音が途切れます。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。
- dtsCDは録音できません。

お願い

- 録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

準備

- 音楽CDの録音に関する設定→P.104
- 本機で初期化したSDメモリーカードを挿入してください。（P.116、179）

1 音楽CDを挿入する（P.92）

2 録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、自動的に録音を開始します。



録音中に表示されます

- 録音を停止するには
録音中画面から**録音中止**を選ぶ

録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

1 録音を選ぶ

2 全曲録音を選ぶ

3 録音開始を選ぶ

- 未録音の曲を全て録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

1 録音を選ぶ

2 選択曲録音を選ぶ

3 リストから曲を選び、決定を選ぶ

4 録音開始を選ぶ

- 録音を停止するには
録音中画面（左記）から**録音中止**を選ぶ

お知らせ

- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音（上記）を行ってください。

お願い

- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。次回車のACCをONにしたとき、停止したところから録音を再開します。
- 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。*1
 - ・頭出し
 - ・再生モード切換（リピート/ランダム/スキャン）
 - ・早送り/早戻し
 - ・タイトル情報検索のための音楽情報の出力と更新
 - ・録音設定
- 連続複製防止システム（SCMS）の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

*1 録音終了時点で再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード（リピート/ランダム/スキャン）の切換などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

[MEMORY MUSIC] に切り換えるには→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

準備 ●本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.105)

MEMORY MUSIC再生画面



オーディオチューン
(P.124～129)

リストから選曲する

- 1 リストに表示させる項目を選ぶ
 - **アルバム**: アルバム/アーティスト/ジャンルのリストを表示
 - **曲**: 曲のリストを表示
 - **お気に入り**: **お気に入り**を選ぶと、MEMORY MUSIC再生画面が表示されます。
- 2 (アルバムリストの場合のみ) リストからアルバムを選ぶ
- 3 リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲の再生を開始します。

早送り・早戻し

- **早送り・早戻し**をタッチし続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

- **早送り・早戻し**をタッチする

お願い

- SD再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが読めなくなる、破損するおそれがあります。

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

- **編集メニュー**を表示 (P.108)
- **お気に入りやジャンルに登録する** (P.110、111)
- **録音データ初期化や録音状況を表示** (P.115)

再生モード切替

(リピート/ランダム/スキャン)

- 1 **再生モード**を選ぶ
 - 2 再生を切り換える
 - 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
 - 再度選ぶと、解除されます。
- 繰り返し再生 (リピート)**
- リピート**を選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 順不同に再生 (ランダム)**
- ランダム**を選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。
- 曲を探す (スキャン)**
- スキャン**を選ぶ
- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

選曲モードを選ぶと、選曲画面が表示されます。



お気に入りを選んで再生する

準備

- お気に入りを登録してください。(P.110)

- 1 **お気に入り**を選ぶ
- 2 リストからお気に入りアルバム/お気に入りトラックのフォルダを選ぶ
 - **再生中画面**: MEMORY MUSIC再生画面に戻る
- 3 (お気に入りアルバムのフォルダを選んだ場合のみ) リストからアルバムを選ぶ
- 4 リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

全ての曲から選んで再生する

- 1 **全曲**を選ぶ
 - SDメモリーカードに録音された全曲のリストが表示されます。
- 2 リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。
 - 録音日の新しい順に表示されます。
 - **再生中画面**: MEMORY MUSIC再生画面に戻る

アルバムから選んで再生する

- 1 **アルバム**を選ぶ
- 2 リストからアルバムを選ぶ
 - **名前順**: 50音順に並べ換え
 - **登録順**: 録音日の新しい順に並べ換え
 - **再生中画面**: MEMORY MUSIC再生画面に戻る
- 3 アルバムから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

アーティストを選んで再生する

- 1 **アーティスト**を選ぶ
- 2 リストからアーティストを選ぶ
 - **名前順**: 50音順に並べ換え
 - **登録順**: 録音日の新しい順に並べ換え
 - **再生中画面**: MEMORY MUSIC再生画面に戻る
- 3 リストからアルバムを選ぶ
- 4 アルバムから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

ジャンルを選んで再生する

- 1 **ジャンル**を選ぶ
 - ジャンル情報のないトラックは、**その他**に分類されます。
- 2 リストからジャンルを選ぶ
 - **再生中画面**: MEMORY MUSIC再生画面に戻る
- 3 リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

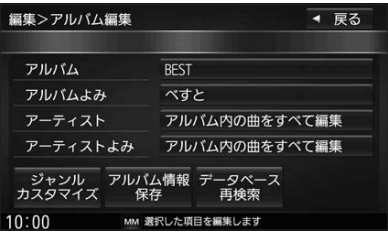
オーディオ
本機で録音した音楽データを再生する

本機で録音した音楽データを編集する

- タイトルが付与されていなかったり、誤ったタイトルが付与されているアルバムは、パソコンやスマートフォンを使用してGracenoteデータベースを更新すると、正しい情報が付与される場合があります。(P.112～114)
- それでも正しい情報が付与されない場合は、下記の手順から手動で編集することもできます。

- お知らせ
- 録音中は編集できません。
 - 文字入力のしかた→P.195

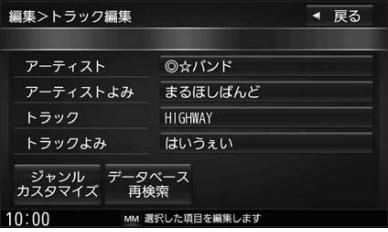
アルバムの情報を編集する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.106) から**編集**を選ぶ
- 2 編集メニューから、**曲管理**を選ぶ
 - 現在のアルバム: 再生中のアルバムのアルバム編集画面を表示
 - 現在の曲: 再生中の曲の情報編集画面を表示
 - 再生中は**はい**を選んで再生を停止してください。
- 3 曲管理画面から編集したいアルバムを選び、**アルバム編集**を選ぶ
- 4 アルバム編集画面からアルバムの情報を編集する (右記)

項 目	操 作		
アルバム名を編集する	アルバム名にタッチする	アルバム名を入力する ● 全角32文字 (半角64文字) まで	決定を選ぶ
アルバムのよみを編集する	アルバムよみにタッチする	アルバムのよみを入力する ● 全角32文字まで	
アーティスト名を編集する	アーティストの アルバム内の曲をすべて編集を選ぶ	アーティスト名を入力する ● 全角32文字 (半角64文字) まで	
アーティストのよみを編集する	アーティストよみの アルバム内の曲をすべて編集を選ぶ	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズを選ぶ	ジャンルを選ぶ	
アルバムの情報を保存する (P.113)	アルバム情報保存を選ぶ	● カスタムアップデート時、アルバムの情報がSDメモリーカード・USBメモリーに書き出されます。(P.113)	
アルバムの情報を更新する (P.112～113)	データベース再検索を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストからアルバム名を選ぶ	

- お知らせ
- データベース再検索を行うと、手動で編集したタイトルは、録音時に自動で付与されたタイトルに戻ります。
 - タイトル情報を編集しても、本機のGracenoteデータベースは更新されません。そのため、SDメモリーカードに録音したアルバム・曲情報は更新されますが、CD再生時は編集されていない情報が表示されます。

曲の情報を編集する

- 1 曲管理画面 (上記) から編集したい曲が収録されたアルバムを選び、**トラック表示**を選ぶ
- 2 編集したい曲を選び、**トラック編集**を選ぶ
- 3 トラック編集画面から曲の情報を編集する (右記)

項 目	操 作		
アーティスト名を編集する	アーティスト名にタッチする	アーティスト名を入力する ● 全角32文字 (半角64文字) まで	決定を選ぶ
アーティストのよみを編集する	アーティストのよみにタッチする	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
曲名を編集する	曲名にタッチする	曲名を入力する ● 全角32文字 (半角64文字) まで	
曲のよみを編集する	曲のよみにタッチする	曲のよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズを選ぶ	ジャンルを選ぶ	
曲の情報を更新する (P.112～113)	データベース再検索を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストから曲名を選ぶ	

本機で録音した音楽データを編集する

再生中のアルバム・曲をお気に入りに登録する

1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.106) から登録を選ぶ

2 お気に入りを選ぶ

●再生中は「はい」を選んで再生を停止してください。

3 再生中のアルバムを登録する場合 再生中の曲を登録する場合

アルバムを登録する
お気に入りフォルダを選ぶ

●1フォルダあたり200アルバムまで

●フォルダ名は編集できます。
・お買い上げ時のフォルダ名:
お気に入りアルバム1～お気に入りアルバム4

曲を登録する
お気に入りフォルダを選ぶ

●1フォルダあたり200曲まで

●フォルダ名は編集できます。
・お買い上げ時のフォルダ名:
お気に入りトラック1～お気に入りトラック4

アルバム・曲をお気に入りに登録する

1 曲管理画面 (P.108) から登録するアルバム・曲を選ぶ

2 お気に入り登録を選ぶ

3 登録するお気に入りフォルダを選ぶ

●お気に入りアルバム: 1フォルダあたり200アルバムまで

●お気に入りトラック: 1フォルダあたり200曲まで

お気に入りフォルダの名称を変更する

1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.106) から編集を選ぶ

2 お気に入り管理を選ぶ

●再生中は「はい」を選んで再生を停止してください。

3 名称を変更したいお気に入りフォルダを選ぶ

4 フォルダ名編集を選ぶ

5 名称を入力し、決定を選ぶ

●全角32文字(半角64文字)まで

お気に入りに登録したアルバム・曲を削除する

1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.106) から編集を選ぶ

2 お気に入り管理を選ぶ

●再生中は「はい」を選んで再生を停止してください。

3 削除したいアルバム・曲のあるお気に入りフォルダを選び、フォルダ内表示を選ぶ

●削除を選ぶと、お気に入りフォルダ内の曲を一括で削除します。

4 削除したいアルバム・曲を選び、削除を選ぶ

5 はいを選ぶ

●選んだアルバム・曲が削除されます。

●お気に入りフォルダから削除されたアルバム・曲は、通常のアルバム・曲として残ります。(SDメモリーカード内のアルバム・曲は削除されません。)

ジャケット写真を登録する

最大1 024×1 024ピクセルのJPEG形式の画像を登録できます。

1 曲管理画面 (P.108) から登録するアルバムを選ぶ

2 ジャケット写真を選ぶ

3 ジャケット写真が保存されたメディア (SDカード/USB) を選び、ジャケット写真を選択するを選ぶ

4 フォルダを選ぶ

5 画像を選ぶ

●選んだアルバムに、選んだ画像がジャケット写真として登録されます。



アルバム・曲を再生する/しないを設定する

1 曲管理画面 (P.108) から再生選択を選ぶ

2 再生しないアルバム・曲を選んでチェック(✓)を外し、決定を選ぶ

●チェックを外したアルバム・曲が再生されなくなります。

●チェックを入れると、再度再生されるようになります。

●全選択: すべてのアルバム・曲にチェックを入れる

●全解除: すべてのアルバム・曲のチェックを外す

再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する

1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.106) から登録を選ぶ

2 ジャンルを選ぶ

●再生中は「はい」を選んで再生を停止してください。

3 再生中のアルバムを設定する場合 再生中の曲を設定する場合

アルバム単位を選ぶ

トラック単位を選ぶ

4 ジャンルを選ぶ

アルバム・曲を削除する

1 曲管理画面 (P.108) から削除するアルバム・曲を選ぶ

2 削除を選ぶ

3 はいを選ぶ

●選んだアルバム・曲が削除されます。

本機で録音した音楽データを編集する

パソコンでGracenoteデータベースを更新する(ローカルアップデート)

WEBサイトから更新データをダウンロードして、本機のGracenoteデータベースを更新できます。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 <http://panasonic.jp/navi/>

お知らせ

- Gracenoteデータベースはパブリックなデータベースですので、データベースの内容を100%保証するものではありません。

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンに挿入する

2 WEBサイトから、Gracenoteデータベースの更新データをダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する

3 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する



4 Gracenoteデータベースを更新する

- ① オーディオチューン画面 (P.124) から **gracenote** を選ぶ
- ② **ローカルアップデート(定期更新)** を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ④ 更新データを保存したメディア (**SDカード/USB**) を選び、**更新開始** を選ぶ
 - 更新履歴: ローカルアップデートの更新履歴を表示
- ⑤ **はい** を選ぶ
 - 本機のGracenoteデータベースが更新されます。

5 タイトル情報を更新する

- ① 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から **データベース再検索** を選ぶ (P.109)
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

パソコンでタイトル情報を個別に更新する(カスタムアップデート)

新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準備(初回のみ)

- 専用アプリ「Title Finder」をWEBサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 <http://panasonic.jp/navi/>

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーにアルバム情報を書き出す

- ① 情報を取得したいアルバムのアルバム編集画面 (P.108) から、**アルバム情報保存** を選ぶ
 - 複数ある場合は、この手順を繰り返し、アルバム情報を保存してください。
- ② オーディオチューン画面 (P.124) から **gracenote** を選ぶ
- ③ **カスタムアップデート(個別更新)** を選ぶ
- ④ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ⑤ アルバム情報を書き出すメディア (**SDカード/USB**) を選び **書き出し** を選ぶ
- ⑥ **はい** を選ぶ
 - アルバム情報ファイル「export.dat」が、SDメモリーカードの「NVDATA」フォルダに出力されます。
 - 手順①で保存されたアルバム情報が、すべて書き出されます。

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機から取り出し、パソコンに挿入する

3 Title Finderを起動しGracenote音楽認識サービスからタイトル情報をダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する



4 タイトル情報取得が完了したら、SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する

5 タイトル情報を更新する

- ① オーディオチューン画面 (P.124) から **gracenote** を選ぶ
- ② **カスタムアップデート(個別更新)** を選ぶ
- ③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、**はい** を選ぶ
- ④ タイトル情報を取り込むメディア (**SDカード/USB**) を選び **取り込み** を選ぶ
- ⑤ **はい** を選ぶ
 - タイトル情報が取り込まれます。
- ⑥ 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から **データベース再検索** を選ぶ (P.109)
 - 取得したタイトル情報に更新されます。

本機で録音した音楽データを編集する

スマートフォンでタイトル情報を個別に更新する

スマートフォンの通信機能を利用して、新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準備 (初回のみ)

- 「Drive P@ss」(P.144) をスマートフォンにインストールしてください。
- 詳しくは、アプリ内の操作ガイド、または下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>

- 1 スマートフォンを本機に機器登録し、スマホ連携接続する (P.145)
- 2 Drive P@ssに切り換える (P.148)
- 3 アプリ選択画面から **Title Finder** を選ぶ
- 4 **検索する** を選ぶ
 - 本機からスマートフォンへタイトル情報を出力し、Gracenoteサーバーにアクセスして、タイトル情報を取得します。
 - タイトル情報を取得すると、タイトルリストが表示されます。
- 5 **タイトルリストから 設定する** を選ぶ
 - タイトル情報が更新されます。
 - タイトル情報に複数の候補がある場合は**
タイトル情報に複数の候補がある場合は、「複数候補あり」と表示されます。候補から、正しいタイトル情報を選んでください。
 - 1 リストから「複数候補あり」と表示されたタイトルを選ぶ
 - 候補のリストが表示されます。
 - 2 リストからタイトルを選び、**確定する** を選ぶ
 - 選んだタイトルがタイトルリストに反映されます。
 - 「複数候補あり」と表示されたタイトルがほかにもある場合は、再度手順 **1** ～ **2** を行ってください。
 - 3 **設定する** を選ぶ
 - タイトル情報が更新されます。
- 6 **終了する** を選ぶ
 - Title Finderを終了します。

SDメモリーカード内の録音状況を確認する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.106) から **情報** を選ぶ
- 2 **SDカード情報** を選ぶ
 - 再生中は **はい** を選んで再生を停止してください。
 - SDメモリーカードの使用済み割合・空き容量・録音可能時間・設定中の録音音質が表示されます。

録音した音楽データを初期化する

- 1 MEMORY MUSIC再生画面 (P.106) から **情報** を選ぶ
- 2 **録音データ初期化** を選ぶ
 - 再生中は **はい** を選んで再生を停止してください。
- 3 **はい** を選ぶ
 - 録音した音楽データがすべて削除されます。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

- [SD] [USB] に切り換えるには→P.82「オーディオの種類を選ぶ」
- 本機では、SD-Audio規格準拠の音楽データは再生できません。

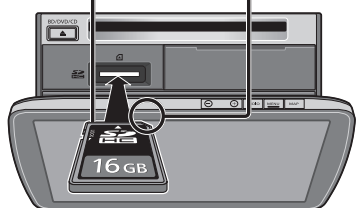
- 本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、PCなどで保存した音楽（MP3/WMA/AAC）、静止画（JPEG）、動画（MPEG4）のデータを再生できます。
- データ作成時の留意点については、→P.200～202をご覧ください。

SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再びカードを抜き差ししてください。

1 ディスプレイを十分に倒して、奥までまっすぐに挿入する

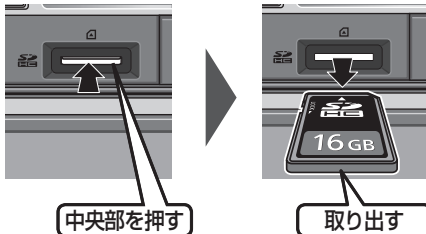
ラベル面を上
角がカットされた側を右に



- カチッと音がするまで差し込みます。

2 ディスプレイを起す

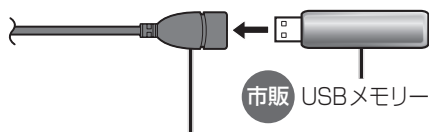
取り出すには



お願い

- 再生中にSDメモリーカード・USBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを本機と接続する



別売 iPod/USB接続用中継ケーブル (CA-LUB200D)

お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。

お知らせ

- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

音楽(MP3/WMA/AAC)を再生する

準備

- 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.116)

音楽再生画面(例: SD)



オーディオチューン (P.124～129)

フォルダを選んで選曲する

- 1 を選ぶ
- 2 フォルダを選ぶ
 - 選んだフォルダの1曲目から再生します。
 - を選ぶと、音楽再生画面が表示されます。

再生中のフォルダのリストから選曲する

- 1 を選ぶ
- 2 リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。
 - を選ぶと、音楽再生画面が表示されます。

早送り・早戻し

- をタッチし続ける
 - 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

- をタッチする

お知らせ

- タイトル、Artist、Album、Genre、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。

選曲モードから選曲する

- 1 選曲モードを選ぶ
- 2 選曲する方法を選ぶ
 - 全 曲 : 全フォルダの全曲から選ぶ
 - フォルダ : 選んだフォルダから選ぶ
- 3 (「フォルダ」の場合のみ) リストからフォルダを選ぶ
- 4 リストから曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。
 - 再生中画面 : 音楽再生画面に戻る

再生モード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

- 1 再生モードを選ぶ
 - 2 再生モードを切り換える
 - 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
 - 再度選ぶと、解除されます。
- 繰り返し再生 (リピート)
- リピートを選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 順不同に再生 (ランダム)
- ランダムを選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。
- 曲を探す (スキャン)
- スキャンを選ぶ
- 再生中のリストの中の全曲を約10秒再生します。

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

- 1 モード切替を選ぶ
- 2 音楽ファイル / 画像ファイル / 動画ファイルを選ぶ

静止画を再生する

準備

- 画像が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、画像が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.116)

画像操作画面(例:SD)



画像をスライドショーで再生する

スライドショーを選ぶ

- 画像をスライドショーで表示します。

スライドショーを停止するには

スライドショーの画面をタッチする

- 再生間隔:再生間隔を設定
3秒[お買い上げ時の設定]/
10秒/30秒/1分
- 開始:スライドショーを開始
- 終了:スライドショーを終了

画像を回転させる

回転を選ぶ

- 画像を右方向に90度回転します。

画像を全画面で表示する

画像再生画面をタッチする

- 全画面で表示します。
- もう一度画面をタッチすると、画像操作画面が表示されます。
- 画像操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

次/前の画像に切り替える

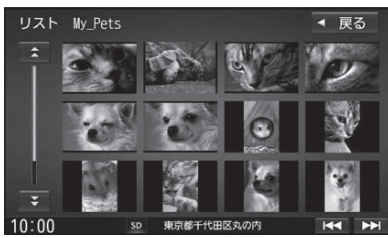
全画面表示中に、左右にフリックする

- 次/前の画像に切り換わります。
- ◀▶を押しても切り換わります。

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイルを選ぶ



動画を再生する

準備

- 動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.116)

再生画面にタッチすると、
動画操作画面が表示されます。

動画操作画面(例:SD)



動画を全画面で表示する

動画操作画面をタッチする

- 全画面で表示します。
- もう一度画面をタッチすると、動画操作画面が表示されます。
- 動画操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

早送り・早戻し

◀▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

動画の頭出し

◀▶をタッチする

一時停止

⏸を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を再開します。

リストから選ぶ

1 再生リストを選ぶ

2 リストからファイルを選ぶ

- 選んだ動画を再生します。

再生中のフォルダ以外から選ぶには

1 再生リストを選ぶ

2 リスト変更を選ぶ

3 選択する方法を選ぶ

- 全ファイル:全フォルダの全ファイルから選ぶ
- フォルダ:選んだフォルダから選ぶ

4 (「フォルダ」の場合のみ) リストからフォルダを選ぶ

5 リストからファイルを選ぶ

- 選んだ動画を再生します。
- 再生中画面:動画再生画面に戻る

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイルを選ぶ

適合機種 (2016年2月現在 接続確認済み)

Made for

iPhone 6s Plus	iPod touch 第6世代	iPod nano 第7世代
iPhone 6s	iPod touch 第5世代	iPod nano 第6世代
iPhone 6 Plus	iPod touch 第4世代	iPod nano 第5世代
iPhone 6	iPod touch 第3世代	iPod nano 第4世代
iPhone 5s	iPod touch 第2世代	iPod nano 第3世代
iPhone 5c	iPod touch 第1世代	iPod nano 第2世代
iPhone 5	iPod classic	iPod nano 第1世代
iPhone 4s		
iPhone 4		
iPhone 3GS		
iPhone 3G		

最新の適合機種および接続情報については、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>

※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

お願い

- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクタは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- iPodの説明書もよくお読みください。

お知らせ

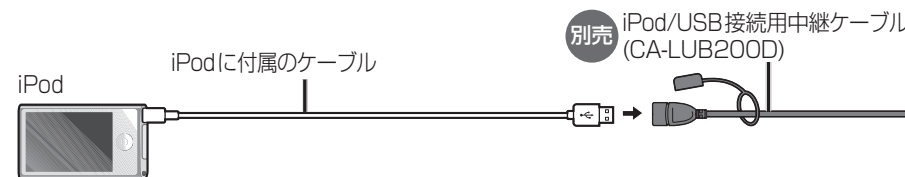
- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneをP.121のとおり接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「こここり」、「CarAV remote」、「音声認識」を利用することはできません。
- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。

準備

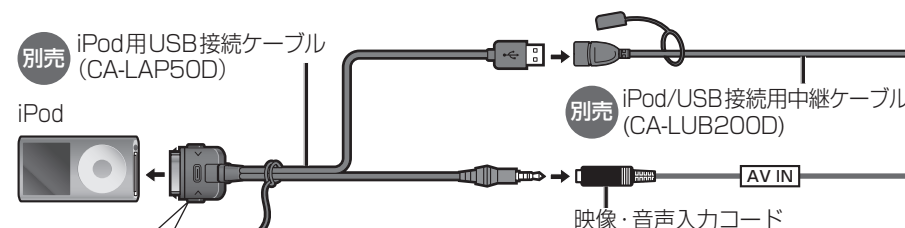
- iPodを本機に接続してください。

- 必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル (CA-LUB200D) で接続してください。他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- iPodに付属のUSBケーブルで接続した場合、iPodビデオを視聴できません。本機でiPodビデオを視聴するには、別売のiPod用USB接続ケーブル (CA-LAP50D) で接続してください。他のケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- Lightningコネクタを持つiPodは、iPodビデオ再生には対応していません。

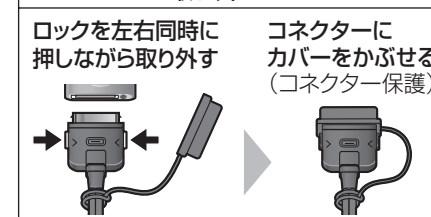
ミュージック再生の場合



ビデオ再生の場合



取り外しかた



音楽を再生する

アルバムアートワーク

表示サイズは、iPodの仕様により異なります。

- 下記の場合は表示されません。

- アルバムアートワークがない
- アルバムアートワーク取得中
- 本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している

iPodミュージック再生画面



オーディオチューン
(P.124～129)

リストの種類を切り換える

リストの種類を選ぶ

- : ジャンルリスト
- : アーティストリスト
- : アルバムリスト

リストから選曲する

再生する曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

曲の情報を表示する

を選ぶ

- 曲の情報が表示されます。
- を選ぶと、リスト表示に戻ります。

早送り・早戻し

をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

をタッチする

選曲モードから選ぶ

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ

- 全曲
- アルバム
- アーティスト
- ポッドキャスト
- ジャンル
- プレイリスト
- 作曲家

3 トラック/エピソードのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ

- **すべて** : 表示している全項目の下階層を表示

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- **再生中画面** : iPodミュージック再生画面に戻る

一時停止

を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

再生モード切替(リピート/シャッフル)

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える

- 選択した再生モードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピートを選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(シャッフル)

シャッフルを選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
シャッフルトラック*1 → シャッフルアルバム
← 通常再生 ←

* 1 リストの内容は、選曲方法(上記)によって異なります。

iPodビデオ再生に切り換える

ビデオを選ぶ

ビデオを再生する

- iPodビデオを再生するには、別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)が必要です。

iPodミュージック再生画面から**ビデオ**を選ぶと、iPodビデオ再生画面になります。

再生画面をタッチすると、タイムバー表示画面に切り換わります。

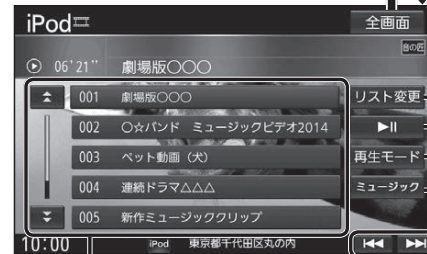


ビデオファイルリストから**全画面**を選ぶと、iPodビデオ再生画面になります。



タイムバー上の●をドラッグすると、頭出しができます。

タイムバー表示画面をタッチすると、ビデオファイルリストに切り換わります。



リストから動画を選ぶ

再生する動画を選ぶ

- 選んだ動画を再生します。

早送り・早戻し

をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

動画の頭出し

をタッチする

動画リストを変更する

1 リスト変更を選ぶ

2 リストから動画の種類を選ぶ

3 再生するファイルを選ぶ

- 選んだ動画を再生します。
- **再生中画面** : iPodビデオ再生画面に切り換わる

一時停止

を選ぶ

- 再度選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

1 再生モードを選ぶ

2 リピートを選ぶ

- 再生中の動画を繰り返し再生します。
- インジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

iPodミュージック再生に切り換える

ミュージックを選ぶ

お知らせ

- 再生中にACCをOFFにすると、次回iPodビデオに切り換えたときに続きから再生されない場合があります。
- iPodのテレビ出力設定を「OFF」に設定していても、本機から取り外すと「ON」に切り換わっている場合があります。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

オーディオチューンのモードを選ぶ

用途に応じて、オーディオチューンのモードを選んでください。

1 情報・設定メニュー(P.25)からオーディオチューンを選ぶ

- FM/AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD(音楽)、USB(音楽)、iPod(ミュージック)から「Sound」を選んで、オーディオチューン画面を表示します。

2 オーディオチューン画面から、モードを選ぶ



●高音質モード

高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。音声はLPCMで記録されたBlu-ray Discは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。(ビット・周波数拡張→P.127)

●エフェクトモード

様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。Blu-ray Discの高音質の音源なども、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

お知らせ

- オーディオチューンの設定は、高音質モード・エフェクトモードでそれぞれ別に記憶されます。

FADE/BALANCEの出力レベルを調整する

1 オーディオチューン画面(左記)からFADE/BALANCEの状態表示部をタッチする



2 ▲▼◀▶で調整する



- 「センター」を選ぶと、値が0になります。

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しめます。

- 「匠 TAKUMI マスターサウンド」[お買い上げ時の設定]:
レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。(2 wayスピーカー向き)
- 「極 KIWAMI 高域強調」:
音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカー向き)
- 「和 NAGOMI 会話重視」:
人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

高音質モードの場合

1 オーディオチューン画面(P.124)から◀▶で「音の匠」を選ぶ



- 「OFF」を選ぶと、設定が解除されます。

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



エフェクトモードの場合

1 オーディオチューン画面(P.124)から◀▶で「音の匠」を選ぶ



- 選ぶたびに、音響効果が切り換わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



お知らせ

- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

SRS CS Autoの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

SRS CS Auto™とは

Circle Surroundデコーダーによる車載用に特化したサラウンドシステムです。また、センタースピーカーやサブウーファーを使用せずに、5.1 chに相当する音場を再現できます。

1 オーディオチューン画面(P.124)から ◀▶で「SRS CS Auto」を選ぶ



- 選ぶたびに、音響効果が切り換わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 詳細設定を選ぶ

3 設定する項目を選ぶ

● FOCUS

感覚的に耳の高さから音が聞こえるように設定できます。

● TruBass

低音の強さを設定できます。
サブウーファー使用時は重低音を楽しめます。

● MixToRear

フロントチャンネルにセリフとBGM、リアチャンネルに効果音などが収録されているDVDなどは、後席ではセリフが聞き取りにくい場合があります。Mix To Rearを設定すると、リアスピーカーにフロントチャンネルの成分(セリフなど)もあわせて出力されるので、サラウンドの臨場感を保ったまま、後席でもセリフなどを聞きやすくできます。

お知らせ

- AUDIO OFFや、高音質モードの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。
- エフェクトがSRS CS Autoのときは、FADE/BALANCEを調整しても効果がありません。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、FADE/BALANCEの設定が有効になります。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。
- SRS CS Auto設定時にスピーカー設定を調整しても、効果がありません。

4 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

● FOCUS: 調整範囲: 0~4~8



● TruBass: 調整範囲: 0~4~8



● MixToRear: 調整範囲: 0~4~8



DSPの設定をする

エフェクトモードでのみ設定できます

1 オーディオチューン画面(P.124)から ◀▶で「DSP」を選ぶ



- 選ぶたびに、音響効果が切り換わります。
音の匠→SRS CS Auto→DSP→OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ



- H A L L: コンサートホール風の音場
- STADIUM: スタジアム風の音場
- CHURCH: 教会風の音場
- L I V E: ライブハウス風の音場

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSP、SRS CS Autoを同時に設定することはできません。

車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

オーディオチューン画面(P.124)から 車速連動VOL補正の程度を選ぶ



- HIGH MID LOW OFF
(補正大) (補正中) (補正小) (補正なし)

より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)

高音質モードでのみ設定できます

音源を補完して、より自然な音で再生します。

オーディオチューン画面(P.124)から ビット・周波数拡張 ONを選ぶ



- ビット・周波数拡張がONになります。
- OFFを選ぶと、設定が解除されます。

お知らせ

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のBlu-ray Discを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

Gracenoteをアップデートする

1 オーディオチューン画面(P.124)から g racenoteを選ぶ



2 Gracenoteをアップデートする

■ 定期更新→P.112

ローカルアップデート(定期更新)を選ぶ

■ 個別更新→P.113

カスタムアップデート(個別更新)を選ぶ

■ データベースの初期化

初期化▶はい▶はいを選ぶ

- ローカルアップデート・カスタムアップデートの内容がすべて削除されます。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

イコライザーの設定をする

イコライザープリセットを切り換える

あらかじめ設定されている内容呼び出して、かんたんにイコライザーを調整できます。

オーディオチューン画面(P.124)から呼び出したいイコライザーを選ぶ



- **VOCAL**: 中音域から高音域にかけて強調した音質
- **ROCK**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- **JAZZ**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- **USER**: お好みで調整した音質(右記)
- **OFF**: ± 0 のフラットな音質

イコライザーを詳細に設定する

イコライザーを、お好みの数値に設定することができます。

1 オーディオチューン画面(P.124)からイコライザーの**詳細**を選ぶ

2 **USER**を選び、各周波数の値を▲▼で設定する



- **初期化**: 選んだイコライザーの設定をお買い上げ時の状態に戻す。
- **VOCAL** **ROCK** **JAZZ** を選ぶと、選んだ項目の詳細設定ができます。(OFFは詳細設定できません)

3 **登録**を選ぶ



お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- エフェクトをSRS CS Autoに切り換えると、イコライザーは自動的に「OFF」に切り換わり、設定できなくなります。エフェクトを音の匠/DSP/OFFに切り換えると、イコライザーを設定できるようになります。

スピーカーの設定をする

[太字:お買い上げ時の設定]

スピーカー出力レベルの調整をする

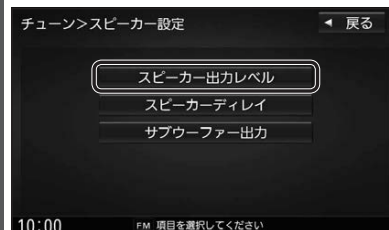
1 オーディオをFMまたはAMに切り換える

2 放送局が無い周波数に合わせる

- ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。

3 オーディオチューン画面(P.124)から**スピーカー設定**を選ぶ

4 スピーカー設定画面から**スピーカー出力レベル**を選ぶ



5 ◀▶で各スピーカーの出力レベルを調整する

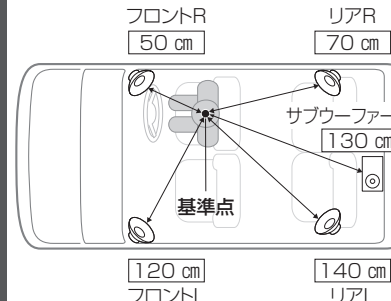
- 調整範囲: $-12\text{ dB} \sim \pm 0\text{ dB} \sim +12\text{ dB}$
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。

スピーカーディレイを設定する

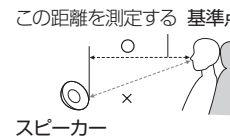
1 スピーカー設定画面(左記)から**スピーカーディレイ**を選ぶ

2 ◀▶で各スピーカーの距離を調整する

- 調整範囲: 0 cm ~ 100 cm ~ 500 cm (2 cm刻み)
- 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。(10 cmあたり約0.3 ms)



- 視聴位置を基準点としてください。
- 距離は、水平に計測してください。



サブウーファーを設定する

1 スピーカー設定画面(左記)から**サブウーファー出力**を選ぶ

2 ◀▶で周波数を調整する

- 調整範囲: 60 Hz ~ 120 Hz ~ 200 Hz
- サブウーファー側に同様の設定がある場合は、サブウーファー側の設定を最大(最も高い周波数)に設定してください。

映像を調整する

画質を調整する

- 1 画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、**[MAP]** を2秒以上押す
 - カメラ画質を調整する場合は、カメラスケール表示の調整画面を表示させてください。(P.172)
 - オプションカメラの画質を調整する場合は、設置位置確認画面を表示させてください。(P.163)

- 2 **[TV]** **[Blu-ray Disc]** **[DVD]** **[iPodビデオ]** **[SD(動画)]** **[USB(動画)]** **[VTR]** **[HDMI]** の場合のみ
画面調整画面から**画質調整**を選ぶ



- 画質調整画面が表示されます。

- 3 画質を調整する



お買い上げ時の設定に戻すには

初期値を選ぶ

- 色合い*1
 - ▶: 緑みが強くなる
 - ◀: 赤みが強くなる
- 色の濃さ*1
 - ▶: 濃くなる
 - ◀: 薄くなる
- コントラスト
 - ▶: 明暗の差が大きくなる
 - ◀: 明暗の差が小さくなる
- 明るさ
 - ▶: 明るくなる
 - ◀: 暗くなる
- ダイナミックガンマ*1
 - ONにすると、本機が自動的に色彩やコントラストを調整します。
 - 選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。

映像の画面表示サイズを切り換える

画面調整画面(上記)から画面表示サイズを選ぶ

[お買い上げ時の設定: フル]

- ワイド** 16:9(横:縦)の画面(左右が少し黒くなる)
 - 4:3の映像は、横方向に引き伸ばされます。
- フル** 映像が画面全体になるように横方向に伸ばした画面(どの位置も伸ばす比率は同じ)
- シネマ** ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて拡大した画面(上下が少しカットされる)
 - [Blu-ray Disc]** **[DVD]** のみ
- ノーマル** 4:3(横:縦)の画面(左右が黒くなる)
 - 16:9の映像は、横方向に圧縮されます。

*1 ナビゲーション画面では調整・設定できません。

現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、**[TV]** **[Blu-ray Disc]** **[DVD]** **[SD(動画)]** **[USB(動画)]** **[iPodビデオ]** **[VTR]** **[HDMI]** **[Drive P@ss]** の映像を表示できます。

- 1 現在地画面で**LAUNCHER**を選ぶ

- 2 ランチャーメニューから**右画面表示**を選ぶ

- 3 右画面表示設定画面から**デュアルウィンドウ**を選ぶ

- 現在地画面にオーディオ映像が表示されます。



- 右画面(オーディオ画面)をタッチすると、オーディオが全画面表示されます。

お知らせ

- ナビ設定からも、デュアルウィンドウの設定ができます。(P.175)

お知らせ

- 走行中は、オーディオ映像は非表示になります。
地図上にオーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキを引いてご覧ください。
- 拡大図(P.32)表示中や地図モード画面(P.36)、渋滞・規制情報の割り込み表示中(P.76、77)は、オーディオ映像は表示されません。
- 現在地画面のオーディオ映像は、表示位置の変更ができません。